

国家公務員技術系職種ガイド

2024

MISSION

この国を守り、未来を創る。



この国を守り、 未来を創る。

CONTENTS

このパンフレットでは、各府省ごとに国家公務員の技術系職員が携わる業務を紹介します。

- | | |
|-----------------|--|
| 02 目次 | 13 府省紹介 経済産業省 |
| 03 区分専攻マトリクス図 | 14 府省紹介 特許庁 |
| 04 府省紹介 警察庁 | 15 府省紹介 国土交通省 |
| 05 府省紹介 総務省 | 16 府省紹介 気象庁 |
| 06 府省紹介 消防庁 | 17 府省紹介 海上保安庁 |
| 07 府省紹介 外務省 | 18 府省紹介 環境省 |
| 08 府省紹介 財務省税関 | 19 府省紹介 原子力規制庁 |
| 09 府省紹介 国税庁 | 20 府省紹介 防衛省 |
| 10 府省紹介 文部科学省 | 21 試験概要 総合職試験・一般職試験(大卒程度試験)の概要 |
| 11 府省紹介 厚生労働省 | 22 採用実績 総合職試験府省等別・試験の区分別採用状況 |
| 12 府省紹介 農林水産省 | 23 採用実績 一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況 |

職員の所属(役職)は、原稿執筆時のものを記載しています。

区分専攻マトリクス図

府省庁名	総合職試験										一般職試験										本府省以外の 主な勤務先							
	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農科系	農工学系	森林系	ALL	その他	情報系	機械系	土木系	建築系	数理系	物理系	化学系	農科系		農工学系	森林系	ALL	その他			
会計検査院																									●	●		
内閣官房内閣衛星 情報センター	●																											
警察庁																										●	●	管区警察局
科学警察研究所	●	●	●		●	●	●	●	●																	●		
個人情報保護委員会																												
金融庁																										●	●	
デジタル庁																										●		
総務省																										●	●	総合通信局
消防庁		●	●	●		●																						
法務省	●	●		●																								地方検察庁
公安調査庁		●																										公安調査局
外務省	●		●	●												●												在外公館
財務省本省	●	●		●	●	●																						
財務省財務局				●																								財務局
財務省税関	●	●					●	●											●	●								税関
国税庁	●	●	●		●	●	●	●								●			●	●						●		国税局
文部科学省																										●		
厚生労働省																										●	●	地方厚生局
農林水産省	●	●	●	●	●	●	●	●	●																	●	●	地方農政局、検査指導機関
林野庁	●									●					●	●									●			森林管理局
水産庁	●	●	●	●				●													●							漁業調整事務所
経済産業省																										●	●	経済産業局
特許庁																												
国土交通省																										●	●	地方整備局、地方運輸局、 地方航空局
気象庁	●	●	●		●	●	●									●	●	●										管区気象台、地方気象台
運輸安全委員会																												
海上保安庁	●	●				●		●																				管区海上保安本部
環境省																										●	●	地方環境事務所
原子力規制庁																										●	●	
防衛省																										●	●	陸上自衛隊、海上自衛隊、 航空自衛隊、地方防衛局
防衛装備庁	●	●			●	●	●																					研究所及び試験場

凡例	情報系	情報工学系、電気・電子系、材料工学系	化学系	化学系、生物系、薬学系、農芸化学系
	機械系	機械系、原子力工学系、造船工学系、材料工学系	農科系	農学系、農業経済系、畜産系、水産系
	土木系	土木系、資源工学系	農工学系	農業工学系
	建築系	建築系	森林系	林学系、砂防系、造園系、林産学系
	数理系	数理科学系	ALL	情報系から森林系までのすべての理系専攻分野
	物理系	物理系、地質系	その他	情報系から森林系までのいずれにも該当しない理系専攻分野

もっと詳しく読む



採用予定数
(総合職試験)は
こちら



採用予定数
(一般職試験(大卒程度試験))は
こちら



令和7年4月の採用予定数は、令和6年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考してください。

市民の安全を守るリーダー

警察庁には、国民の「安全・安心」のために、技術系職員がその能力を存分に発揮できるフィールドがあります！

本庁では総合職（行政職）、一般職（情報通信/DNAセンター）職員が、
附属機関である科学警察研究所では総合職（研究職）職員が活躍しています。

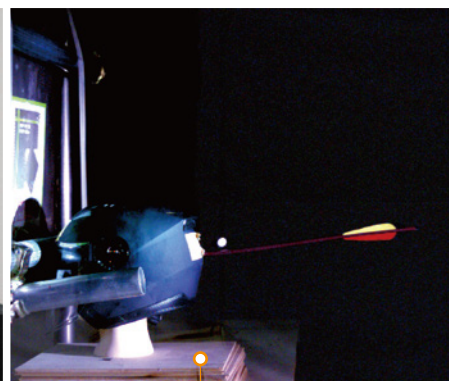
総合職（行政職）職員は、理系としての素養を活かし、生活安全、刑事、交通、警備、サイバー警察といったあらゆる部門で
政策の企画立案を担い、一般職職員は、技術のプロフェッショナルとして、

警察独自の情報通信ネットワークの構築、犯罪捜査における技術的支援等を担っています。

総合職（研究職）職員は、それぞれの専門に応じて、科学捜査についての研究・実験等を担っています。



ランサムウェアの脅威への対処に関する連携の強化のための国際会議（ランサムウェアに関するG7高級実務者会合）への参加



ヘルメットに対するクロスボウの射撃状況（衝撃でわずかに矢がたわんでいる様子が見られる）



警察では、被疑者DNA型記録等をデータベースに登録し、未解決事件をはじめ様々な事件の捜査に活用しています。

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

見えない敵との対峙

諏訪 博之

総合職 数理科学・物理・地球科学
警察庁サイバー警察局
参事官（サイバー情報担当）付課長補佐

2013年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

友人に国家公務員試験を一緒に受けなかと誘われたことがきっかけです。その後、国のために働くというシンプルなやりがいと、行政官として様々な業務に携わることの魅力を感じ、国家公務員になりました。

●日々の仕事

現在は、警察庁でサイバー攻撃対策業務を担当しています。2023年はG7広島サミットが開催され、警察としては、物理的警備はもちろん、サイバー攻撃対策も重要な課題の一つでありました。開催地となる広島県警察をはじめ、全国警察の担当者と共に、関係事業者と連携し、安全・円滑なサミットの開催に向けて様々な対策を行いました。

サイバー攻撃対策は、見えない敵との対峙。でも、その脅威はとてもリアルに感じています。



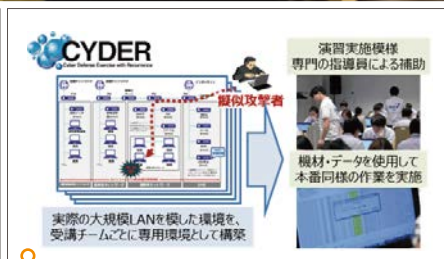
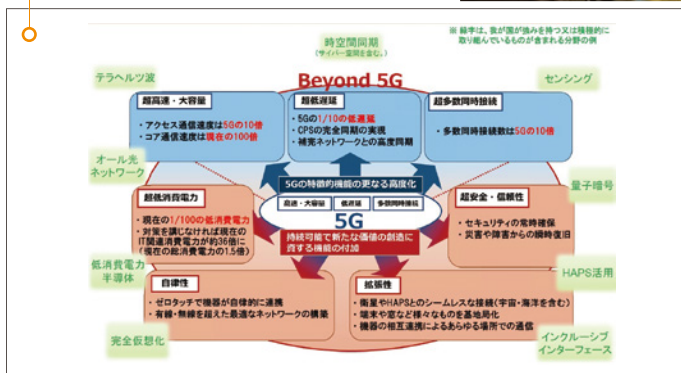
情報通信技術でより良い社会に

総務省は、我が国の成長分野のひとつである情報通信分野を所管し、通信・放送業界の監督のほか、サイバーセキュリティの確保や先端的な研究開発、ICTの利活用の推進などを行う「情報通信行政」を担っています。情報通信行政では、最先端の技術を踏まえた政策を企画立案していくことが求められ、理系のバックグラウンドが活きる行政分野です。情報通信分野は技術の進歩が速いため、新しい技術の発展を妨げないように取り組む一方で、利用者の保護や既存のシステムへの影響に配慮した対応が求められており、技術系職員が幅広く活躍している分野です。

世界無線通信会議(WRC)開催中の様子



Beyond 5Gの特徴



サイバーセキュリティ人材育成

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

無線通信事業を 制度面からサポート



●記憶に残っている業務

無線機の認証制度に関する業務を2回担当しました。最初に担当したときは右も左も判らない状態でしたが、先輩方に教を請いつつ制度の把握を進める中で法令の読み解き方にも慣れ、当時課題となっていた認証マークの表示に関する制度改正を実施しました。初めて担当した制度改正案件であり、この時の経験が今でも活かされています。2回目は、認証制度の二国間協定を担当しました。日本の認証制度を外国の政府・事業者の説明するため国際会議で発表を行うなど、良い経験が出来ました。

田中 友
II種 機械
総務省総合通信基盤局電波部
基幹・衛星移動通信課衛星事業係長
2006年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

大学の博士課程に進み、家と大学を往復し自分の研究を進める毎日の中で社会から隔離されているような感覚を覚えました。そのため、多くの人と関わり社会の一員として貢献している実感が得られる仕事がしたいと思い、国家公務員になりました。

災害対策の司令塔

消防庁は、火災の予防や消火、救急、救助など「国民の安心・安全」を担っています。

高齢化社会の到来や新エネルギーの出現、ICTの活用など、社会の大きな流れの中で、誰もが安心して暮らすためには、合理的な安全対策が必要です。

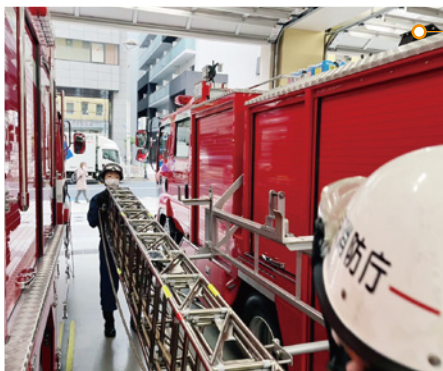
技術系職員は、消防防災の専門家としての現場の知見、研究者や技術者と議論するための理系の素養、そして関係者が納得できるように説明する行政官としての技量をもって、合理的な安全対策を実現します。

また、地域の消防力では対応できない大規模な地震や集中豪雨などの自然災害、大規模事故、テロなどの緊急事態の際には、被害の全貌を把握するとともに、全国的な見地から緊急消防援助隊を派遣して被害の抑制にあたるなど、オペレーション業務を担います。

消防の現場で活躍する消防吏員、地域の防災を担う市町村・都道府県の職員、地方自治体や行政評価を専門とする総務省の職員など、様々な経歴を持つ職員の橋渡しの役割を担い、チーム力を高めます。



地震などの大規模な災害が発生すると、消防庁内にある消防防災・危機管理センターに参集し、情報収集や緊急消防援助隊のオペレーションなどを行います。



現場の意見を正確に理解した上で施策に反映させるため、入庁して数年で消防本部に出向し、現場活動や消防防災行政の基礎的な知識を身につけます。

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

技術系行政官として、国民の生命、身体、財産を守る。



●仕事の面白み、やり甲斐

火災予防、救急、防災など様々な分野に関する業務に携わることでジェネラリストとして成長できる一方、広義での消防防災分野に関する業務に携わり続けることでスペシャリストとしても成長できる点が消防庁で勤務する魅力だと感じています。

私はこれまで主に火災予防と救急に関する業務に携ってききましたが、それぞれの業務は違う分野でありながらも、人の命を守るために現状の制度などをより良いものにするという目的は共通しており、その共通目的を達成するために力を尽くすことができる点にやり甲斐があります。

秋山 尚樹

総合職 工学
消防庁消防・救急課救急企画室
主査

2019年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

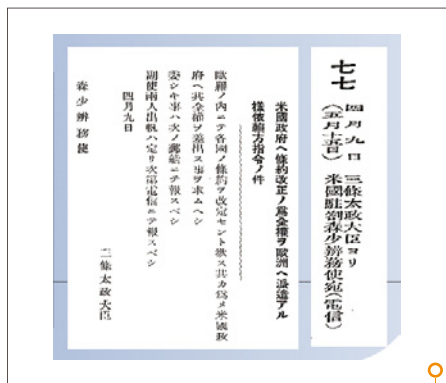
それまでの人生でたくさんの人から受け取った恩を業務で返すことができ、なおかつ理系としての大学の専攻を活かすことができる仕事がまさに消防庁での仕事(国家公務員の仕事)だと考え、国家公務員を目指しました。

国際社会における日本を支える

外務省の任務は国際社会の一員として求められる責任を果たしつつ、日本の安全と繁栄を確保し、国民の生命と財産を守ること。
 激動する世界情勢のなか、世界各国で外交活動の拠点となるのが大使館や総領事館、政府代表部などの在外公館です。相手国にとって「日本の顔」とも言える在外公館施設の企画・設計から建設、竣工後の管理まで、建設プロジェクトを担うプロデューサーとして、また、本省と在外公館との間でやりとりされる外交情報を24時間365日、安心、安全、確実に送受できるよう、より強固な情報通信システムの開発・管理を行い、巧妙化するサイバー攻撃から情報を守る専門家として、技術系職員は我が国外交基盤の一端を担っています。



在ザンビア日本国大使館でインマルサット衛星通信機器設置



日本で最も古い外交公電



現在進捗中の大使館事務所増改築工事現場の様子



在ギリシャ日本国大使館事務所

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

グローバルに
仕事をしたい方には
とてもおすすめです！

渡邊 浩彰

II種 電気・電子・情報
外務省大臣官房在外公館課管理官室
主査

2010年採用

国家公務員になろうと
思ったきっかけ

外務省に技術系の仕事があることを知り、興味を持ったことがきっかけです。世界中の自分が知らない国での生活に対する期待や楽しみがありますし、また国家公務員は、安定した職業であることも魅力だと思います。

●日々の仕事

最近では、在カラチ日本国総領事公邸の新築設計業務を主として担当しています。日本らしさを感じられる公邸を目指し、予算制限のある中で民間設計業者と共に検討し、公邸への来客者に対して最大限のおもてなしができる場とするともに、使用者にとっての良好な活動・居住環境を提供できるような設計を常に考えています。現在は、大使館等の在外公館施設の営繕業務体制強化に向けたプロジェクトを担当しており、その必要性を理解してもらうため、対外説明、資料作成などの業務に日々奮闘しています。



国のゲートキーパー

税関はその名の通り、「税」と「関」に関する役割があり、いずれの役割にも化学分析が貢献しています。

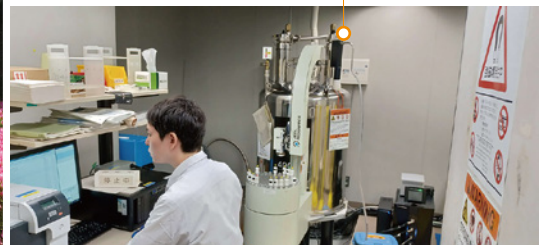
「税」に関することとしては、輸入品に課される関税は含有する成分やその割合などによって税率が異なる場合があり、分析職員が成分の定性・定量を行うことで輸入申告審査を支援しています。

「関」に関することとしては、税関検査を受けた貨物に覚醒剤や麻薬といった不正薬物の疑いがある物品が発見された際に、法律で規制される薬物を含有するか、また、どの法律で規制される薬物種であるかを特定する鑑定を行います。

税関での分析対象は、食品、鉱物、金属、化学品、プラスチック・ゴム製品等と多岐にわたるため、多様な専門性を有する職員が活躍しています。



東京税関本関庁舎前



NMRによるプラスチック製品の分析



石油製品の蒸留性状の確認試験



薬物の鑑定

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

水際の最前線で、 あらゆる「モノ」に立ち向かう

飯泉 美弦

総合職 化学・生物・薬学
財務省東京税関調査部検査第9部門

2020年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

所属研究室の博士の先輩が公務員になったとき、技術系でも公務員になれるのだと初めて知りました。その後説明会等で職員の国内外での活躍を目にし、興味の幅が広いという自分の特性を鑑みても、公務員が合っているのではないかと思志望しました。

●記憶に残っている業務

ベルギーのWCO(世界税関機構)で開催される国際会議に出席したことが印象深いです。WCOは約180か国が参加している国際機関であり、その会議では税関制度の標準化等が話し合われます。コロナのため、現地に行くことはなかったのですが、各国のスタンスや注力する分野の違いを見ることができ、「国際貿易」というフィールドでは日本のことだけ考えるのではなく、協調していくことの重要性を身をもって感じることができました。



税務行政と酒類業を技術で支える

国税庁の技術系職員は、「鑑定官」と呼ばれ、酒類・ガソリンのスペシャリストとして活躍しています。

鑑定官は、課税物件である酒類・揮発油類の成分の分析・鑑定を通して適正かつ公平な国税の賦課の実現のため活躍しています。鑑定官が行う分析・鑑定により、不適切な納税等があると懸念される者に対して調査を進めていくこととなり、課税と直結する重要な業務です。

また、国税庁では酒類製造者の酒造技術向上のための取組として、技術相談や技術指導を実施しています。

鑑定官が技術的な課題を抱えている製造者の元へ直接臨場し、助言を行うことで、酒造技術の向上に貢献しています。

その他、酒類の安全性確保のための取組や、技術的な知見を活用して国内産酒類の輸出促進に向けた取組等も行っています。



酒類製造者に対する技術相談



鑑評会の開催



国内産酒類の輸出促進に向けた取組



課税物件である酒類のアルコール分析

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

お酒の新たな魅力の創造とともに挑戦する。

諸橋 一樹

総合職 農業科学・水産
国税庁関東信越国税局課税第二部
鑑定官室鑑定官

2015年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

院卒でないで理系のバックグラウンドが直接生きる仕事というのが当時なかなか見当たらなかった中で、技術系国家公務員であれば、大卒であっても、大学での学びが仕事に生かせそうだと感じたのがきっかけです。

●記憶に残っている業務

ひとつはテキストマイニングというデータサイエンスの手法を用いた日本ワインに関する論文執筆で、酒類業界では目新しい手法で日本ワインの特徴を定量的に示すことができました。もうひとつは、白麴という本来焼酎の製造に使用される原料を日本酒の製造に適用した新商品開発支援を行ったことです。杜氏と呼ばれる日本酒の製造責任者とともに技術的検討を何度も重ね、新しいコンセプトの日本酒がこの世に生まれ出た瞬間の喜びはひとしおでした。



未来づくりのプロフェッショナル

文部科学省では、事務系・技術系を問わず、教育・科学技術・スポーツ・文化といった広範な分野の業務を扱います。中でも技術系職員が中心となる科学技術分野では、多様な学術・基礎研究への支援や、そこから生まれた成果の社会実装に向けた取組、国単位の大きなプロジェクトの推進に加えて、これらを支える人材の育成や産学の組織的連携、国際連携等の横ぐしの政策立案を行います。日進月歩の科学技術・学術が生み出す社会変革やイノベーションは、我々の生活を豊かにするとともに、ときにリスクを生み出すこともあります。文部科学省の技術系職員には、こうした最先端の研究開発や社会動向へのアンテナを高く保ちつつ、予算・法令・税制等のツールを総動員しながら、深い洞察と課題解決力によって豊かな国づくりに向けた政策を立案する役割が求められています。



若手職員による現場関係者との意見交換

大学の研究力強化に向けた取組



基幹ロケットの打上げ(©JAXA)



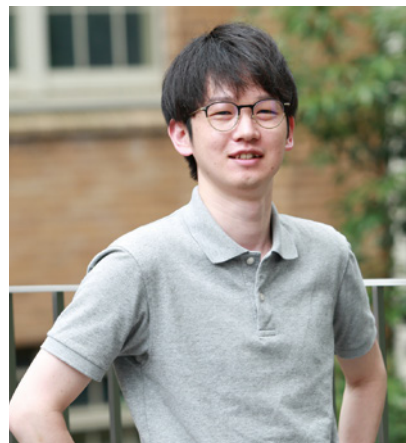
科学技術・イノベーション白書

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

主語が「私」から「国」となるとき



●記憶に残っている業務

入省2年目で担当した新規の研究支援制度(創発的研究支援事業)では、データ分析や約100人の研究者・大学関係者との意見交換を通じた政策立案を経験し、自身の大学院での研究経験が活かされたとともに、アイデアが実際の社会に実装されていくやりがいを感じました。入省5年目には大学や高専における成長分野への学部再編等を加速する制度の立案に携わり、研究支援とはまた違った「組織」や「社会構造」を動かすダイナミックな視点が印象的でした。

池田 宗太郎

総合職 化学・生物・薬学
文部科学省研究開発局宇宙開発利用課
課長補佐

2018年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

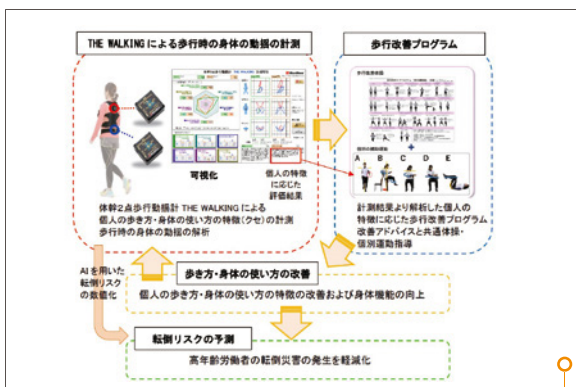
教育と研究に関心が高かったこと。また、長い人生のたった20数年で自分の生き様を決めたくはないと思い、自分自身の興味や活躍の場の選択肢をできるだけ広く維持できる職種を希望しました。

かけがえない生活の「要」— 当たり前の日常を守る —

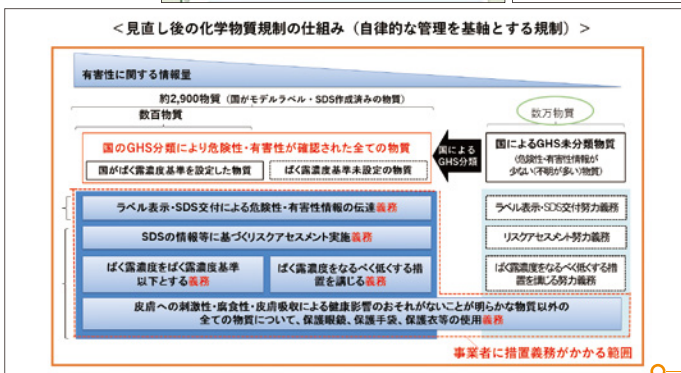
総合職技術系の働くフィールドは、すべての労働者を対象とする労働安全衛生行政をはじめ、ものづくり人材の評価制度、介護ロボットの開発、情報システムの運営など多岐にわたります。具体的には、労働災害の防止やメンタルヘルス不調、過重労働、化学物質による健康障害の防止等あらゆる業種を対象として、災害状況の実態把握や複雑な産業機械の規格改正への対応、欧米における自立的な化学物質管理への対応など、時代の変化に対応できるよう対策を検討し、法令などの制度の創設、改正に取り組んでいます。活躍の場も、厚生労働省本省、都道府県労働局に限定せず、国際機関や他府省、研究所のほか民間企業への出向等幅広く技術系職員が働いています。



廃炉作業での放射線被ばくの低減に関する情報をまとめたホームページ



高年齢労働者安全衛生対策実践事業（転倒防止技術）



新たな化学物質管理規制の仕組み

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

「やり甲斐」を日々感じる職場です！



●仕事の面白み、やり甲斐

働いてから強く感じるようになりましたが、「労働」を通じて、ケガをすること、活力を失うこと、場合によっては命を落とすことは、あまりにも理不尽であると思います。

これまで機械災害対策や労働者のメンタルヘルス対策等を担当しましたが、労働者の安全と健康を守るという目的のもと、何ができ、何をすべきなのか色々な方々と調整し、前向きな検討を進める案件に携わることが多かったので、日々やり甲斐を感じる仕事だと思っています。

石井 寿樹

総合職 工学
厚生労働省労働基準局安全衛生部労働衛生課
産業保健支援室メンタルヘルス対策係

2020年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

国民の命を守る仕事に就きたいと漠然と思ったことがきっかけです。利益を顧みず、また対象を限定させずに国民の命を守ることができるのは、国家公務員だけだと当時は考えたため、志望しました。

食と生命の守護神

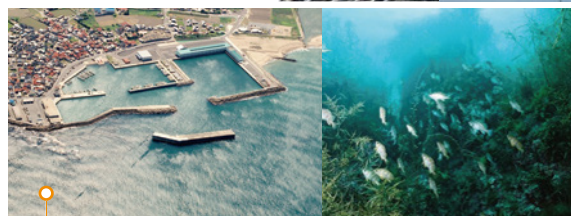
日本の食料・農林水産業は、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化、気候変動や自然災害の頻発化、生産・消費の変化など、様々な課題に直面しています。将来にわたって食料の安定供給を図り、生産力向上と持続性の両立を実現するには、イノベーションの創出といった科学的な手法が欠かせません。

例えば、収量増加や品質向上に帰するバイオテクノロジーや、省力化を可能にするスマート技術の開発・実装が急務となっており、農林水産省では多様なバックグラウンドを持つ技術系職員が、自身の専門的な知識・能力を生かしながら、現場の課題を踏まえた政策の企画・立案・実行など広い範囲で活躍しています。

(左) 漁港での水揚げ風景／
(右) 安定供給のためのウナギ人工種苗の生産技術開発



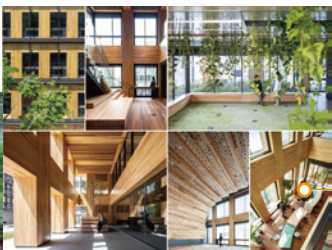
(左) ドローンによる農業散布／
(右) 食文化の継承・振興



(左) 水産業の拠点となる漁港の整備／(右) 水産資源を守る・増やす漁場の整備



(左) 基盤整備により大区画化された水田／(右) 適切な更新・長寿命化が必要な農業水利施設



(左) 高性能林業機械による森林整備／(右) 木材をふんだんに利用した大規模建築物



もっと詳しく読む



先輩職員に聞く

FROM SENIOR TO YOU

日本の「食」をあらゆる面から支えています。

岡田 真希

総合職 農業科学・水産
農林水産省消費・安全局農産安全管理課
調査係長

2019年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

就職活動の際、「食」に関連した仕事がしたいという希望は持っていましたが、具体的な分野や職種が定まっていませんでした。そんな中、農林水産省においては、「食」に関わる生産、流通、加工、販売などあらゆる面で社会に貢献することができる点に魅力を感じ、国家公務員試験を受けることを決意しました。

●日々の仕事

現職では、肥料に使用できる原料や肥料が含有すべき成分等を定める基準の設定や見直しに関する業務を行っています。肥料の効果や使用方法、農作物や環境への影響に関する知識を深める必要があるほか、生産現場の実態を把握することが求められるため、肥料関係事業者との意見交換を通じて、ニーズや問題点を把握し、基準の見直しや適切な対応策の検討に役立っています。また、肥料工場などの生産現場を訪問することで、実際の製造プロセスや品質管理の仕組みに関する知識を深め、生産現場における課題を把握するよう努めています。



日本経済の牽引役

経済産業省は、日本の経済・産業を活性化させ、社会を豊かにするための政策の企画・立案・実行を担っていますが、実は採用数の約4割が技術系職員です。

取り組む課題は、エネルギー・環境からロボット、モビリティ、AI・IoT、バイオ・ヘルスケアなど、経済に関わる全ての産業分野にまたがりますが、分野に限らず、産業の競争力を規定する大きな要素として技術・イノベーションがあり、それらが社会に実装されることで、私たちの暮らしはより豊かになっていきます。だからこそ、経済産業省の技術系職員は、技術と社会を繋げる人材、技術も行政も操れる人材として、理系としての専門性や理系的思考を活かしながら、日本の産業・人々の暮らしを豊かにする「仕組みづくり」に日々活躍・挑戦しています。



レベル4自動運転移動サービス開始に係る記念式典(福井県永平寺町)



ドライバー無人で走行する自動運転車(福井県永平寺町)

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

知性・感性・人間性の 全てが問われる 国際交渉の奥深さ



●仕事の面白み、やり甲斐

交渉の世界においては、主張を裏付ける強固なロジックを固めるためにも、相手国の政治動向や政策への深い理解が当然必要です。加えて、「同志国を探し、仲間づくりをしながら戦略的に交渉を進めること」、「相手国の交渉官の性格・趣向を踏まえつつ、個人的関係を築きながら本音を引き出すこと」も重要です。このように、知性のみならず、感性や人間性等を総合的に駆使しながら、最終的に日本として目指している成果を勝ち取ることがリアルな交渉の醍醐味と考えています。

大岡 知生

総合職 工学
経済産業省産業技術環境局環境政策課地球環境対策室
室長補佐

2018年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

大学院生の時に国際機関(ADB)に半年の長期インターンに参加しました。その時に、改めて自分が日本という国が好きで、日本がより良い国になってほしいと思い、理系の専門知識を持ったジェネラリストとして国家公務員を目指すことにしました。

「知的財産」の守り人

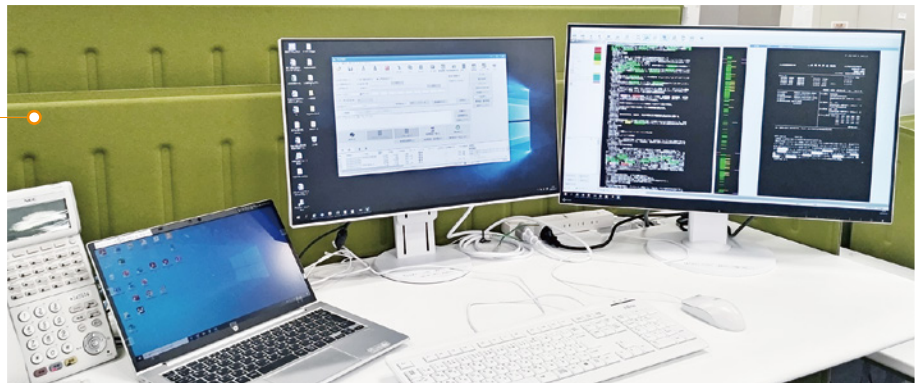
特許庁の技術系職員は、審査官・審判官として特許の審査・審判業務に従事するとともに、行政官として特許制度を取り巻く様々な業務に携わり、日本の技術開発を支えています。

特に、審査・審判の業務では、特許出願された発明の理解、従来技術の調査、特許性の判断等、あらゆるプロセスにおいて理系のバックグラウンドを最大限に活用します。

入庁後は、学会への参加、大学での講義聴講、海外留学等の機会もあり、業務を通じて技術的・法律的な専門知識をさらに深めていくことができます。

また、行政官としては、審査で身に着けた知識や経験を強みとして、知的財産権の取得・活用に関する施策立案、法整備、国際交渉、途上国支援等、幅広い場面で活躍しています。

審査官の執務環境



口頭審理を行う審判廷



協議を行うためのスペース



もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

特許審査を通じて日本の イノベーションに 貢献する。

籠島 福太郎

総合職 化学・生物・薬学
特許庁審査第三部医療審査官

2019年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

大学在学中に様々な分野の研究開発の話題に触れる中で、日本における研究開発の全体像はどのようなになっているのか、研究開発の成果はどのような仕組みで保護・活用されていくべきかという点に興味を持ったことがきっかけです。

●日々の仕事

審査官の主な業務である特許審査では、発明の内容を正確に理解した上で、特許文献や学術論文等を対象に先行技術調査を行い、特許性の判断を行っています。ときには、出願人との面接の場を設け、実際に話を聞いて判断を行うこともあります。常に進歩し続ける技術の産物である発明に対して納得感のある審査結果を提供するために、企業や研究機関を含むユーザーとの意見交換や、庁内での研修、審査官同士での情報交換を通じて、日頃から知見のアップデートに努めています。



豊かな暮らしと経済の実現

国民の命と暮らしを守ることが使命である国土交通省は、社会資本整備の推進、社会資本の老朽化対策、交通政策の推進、地域活性化の推進、心地よい生活空間の創生、競争力のある経済社会の構築等、多岐にわたる施策に取り組んでいます。

インフラツールを駆使し、現場を動かすことでこれらの施策を推進していく国土交通省にとって、専門的で技術的な知識・経験を有する人材は必要不可欠であり、その役割を担うのが技術系職員です。技術系職員は、より効果的で実効性のある施策立案・判断・業務遂行等に貢献しており、本省における施策立案・制度設計、現場における計画・設計・施工・管理・運営等、幅広いフィールドで活躍しています。



(上)世界最大級コンテナ船「MSC Isabella」が入港する横浜港
(下)年間8,500万人(H30)が利用する羽田空港
提供:関東地方整備局東京空港整備事務所

(左上)インド高速鉄道／車両イメージ図
提供: JICA

(中央)インド高速鉄道／土木工事現場の様子
提供: NHRCL



(左)ボーイング777型機
提供:ボーイングジャパン
(右)空飛ぶクルマ「JAS4-1」
提供:Joby Aviation



もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く

FROM SENIOR TO YOU

更なる北海道農業の発展へ

岩渕 希彩

総合職 農業農村工学

国土交通省北海道開発局札幌開発建設部

深川農業事務所第3工事課第1建設係

2021年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

道外の大学に進学した際に「北海道は美味しいものがいっぱいであまい」と言われたのが嬉しくて、北海道の食・農業を広く支える仕事がしたいと思い、北海道の農業に関わることができる国土交通省で働く国家公務員を志望しました。

●仕事の面白み、やり甲斐

北海道開発局では”道産”ブランドを守り成長させていくため農業生産基盤の質の向上に努めています。実際に携わる業務が食料生産の基礎を作っていく、というのは壮大で責任ある仕事だと感じています。私は1年目に約26haのは場整備工事を担当しました。工事によって小さかった農地が拡大したことで、農地に大きな機械が入れるようになり、翌年の春に種まきや肥料散布をしているのを見て胸が熱くなりました。



科学技術を駆使する防災の専門官

気象庁では、自然現象を監視・予測し、防災に資する警報や情報の発表・解説をするなどの防災支援を行っているほか、航空機・船舶の交通安全の確保、地球環境の保全に寄与しています。

また、取得した気象データを提供してビジネスの分野での利活用を促進することで、産業の発展にも一役買っています。

このように、技術系職員の活躍の場が多岐に渡るため、働いている職員の約9割を技術系職員が占めています。

その中で専門性を極めたり、逆に様々な分野を経験することで、自分が活躍できる場を探すことができます。



災害が発生した際に地方公共団体等に直接解説を実施
気象庁／防災対策支援チーム



気象庁の仕事に関連したコンテンツを展示
気象科学館



災害が発生した場合に迅速に現場を調査
気象庁／機動調査班



赤道上空約35,800Kmで大気の状態を観測
気象衛星ひまわり

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

世界屈指の技術水準で世界各国の気象業務に貢献しています。

舟橋 尚子

一般職 物理
気象庁情報基盤部情報通信基盤課

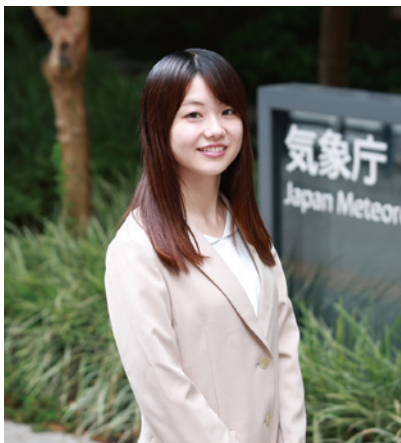
2019年採用

国家公務員になろうと思ったきっかけ

幼い頃から日々変わる空の変化に興味を持っており、また人の役に立つ仕事がしたいと考えていました。そのため人々の生活に関わる気象や自然災害と常に向き合う気象庁に魅力を感じたのがきっかけです。

●日々の仕事

現配属の情報通信基盤課では、主に国際気象通信業務を担当しています。国際気象通信システムの技術開発、国際的な気象情報交換の管理に関すること、データ交換のための共通フォーマットの共有・維持・管理、海外の気象機関職員を主な対象とした研修やワークショップの実施など、国際的に気象データが迅速に交換ができるように、配信調整や情報システムの管理を行ったり、海外との打ち合わせや会議に参加したりしています。



日本の海の守護神

海上保安庁海洋情報部では、航海安全、海洋権益、防災など、日本の海を守るため、海の科学的調査を行い、安全な航海に必要な不可欠な「海図」、海に関する情報・データを広く社会に届ける「海しる」を提供しています。海洋情報部職員は、科学技術を道具に、フロンティアである日本の海を守り、活かすために、職務に取り組んでいます。また、交通部では、海上交通の安全確保と運航能率の増進を図るため、海上交通センターにおける航行船舶への情報提供、マリンレジャーを楽しむ方への安全対策、灯台をはじめとする航路標識の整備や運用等を実施しています。交通部職員は、最新技術を駆使し、海上交通の安全を守るために、職務に取り組んでいます。

測量船「光洋」



測量機「あおばすく」



自律型潜水調査機器 (AUV)



海上交通センターにおける情報提供

海洋状況表示システム「海しる」



もっと詳しく読む

先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

目には見えない海の姿を知る

齋藤 京太

総合職 数理学・物理・地球科学
海上保安庁海洋情報部技術・国際課海洋研究室研究官

2017年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

小さいころから地球科学に関する話題に興味を持ち、大学で専攻するに至ったこともあり、そこで学んだ知見を直接的・間接的問わず生かせる仕事を探る中で、国家公務員の技術系という選択肢に至りました。

●仕事の面白み、やり甲斐

海では過去・現在を通して幅広い時空間スケールで多岐にわたる現象が起きています。海面で起きている現象は比較的観測しやすいですが、海面下で起きている現象や海底の様子を直接目で見るとは難しいですし、観測も一筋縄ではいきません。それだけに、海で起きている現象を観測機器で捉え、可視化し、現象どうしがどう繋がっているのか理解を進めていくというのは非常に面白く魅力的だと思っています。



地球と人類の未来の守り人

環境省は、世界を舞台にした国際交渉から、国内で現場に寄り添う仕事まで様々な場面で活躍し、「環境」を軸にして仕事ができる唯一の省です。

スペシャリストとゼネラリストとの両視点からあらゆる分野で活躍し、国の政策に携わることができます。

「理工系出身者」は、気候変動対策、循環型社会の構築、水大気環境保全、化学物質対策等、

「自然系出身者」は、生物多様性の保全、国立公園の保護管理、希少種の保全や外来生物対策、施設整備などの分野で活躍しています。



生物多様性条約COP15における集合写真



地域の再生可能エネルギー施設の視察



国立公園の利用拠点整備
(川湯ビジターセンター)



「自然共生サイト」認定ロゴマーク

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

少しずつでも前に進めていく。

佐藤 俊

一般職 土木

環境省環境再生・資源循環局リサイクル推進室

2017年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

大学時代は勉強・部活中心の生活で、就職する自分が想像できませんでした。「どんな仕事をしたいか」ではなく、「どんな仕事なら一生懸命になれるか」と考えたときに大切な自然を守る仕事に就きたいと思いました。

●仕事の面白み、やり甲斐

自分の携わった業務が「形」になることにやりがいを感じます。現場があれば自分の調整が現場に反映されること、制度的な検討であれば文章として形に残るなど、どんな小さなことでも社会に貢献できていればいいと感じます。また、結論にいたるまでの経緯も大切にしています。目的を見失わず、より良いアウトプットのために関係者や同僚と仕事に取り組むことは面白いと思います。



世界最高水準を目指す確かな規制

原子力規制委員会は、常に世界最高水準の安全を目指し、原子力発電所などの安全規制を行っています。

原子力施設は、あらゆる分野の技術が集まって成り立っており、その規制には、様々な分野の科学的・技術的な知識が必要です。また、放射線防護や原子力防災・災害対策などの役割も担っています。

そのため、原子力規制庁は、全ての区分の技術系職員（職員の約8割が技術系）が活躍できる環境であり、

東京での本庁勤務のほか、原子力施設が所在する地域の規制事務所や、国際機関等において、常に最新の知見に学び、高い倫理観、使命感、誇りを持ちながら、職務にあたっています。



原子力施設の審査会合
(オンライン)の様子



原子力発電所で現場確認を
している様子。



在フランス日本国大使館にて
打合せをする様子。

もっと
詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

楽な道ではありませんが、
歩いた分だけ成長できるのが
魅力です。

中野 裕哉

原子力工学採用試験
原子力規制庁原子力規制部審査グループ
実用炉審査部門安全審査官

2017年採用

国家公務員になろうと
思ったきっかけ

高校生の時の東日本大震災での福島第一原子力発電所の事故がきっかけで原子力について学べる大学に入学。大学で学んだ原子力安全工学の知識を広く業務に活かせる職場として原子力規制庁を志望しました。



●記憶に残っている業務

担当した業務の中で印象深かったものの一つとしては、放射線規制部門に所属していた際に担当した、放射線取扱主任者資格という国家資格の試験及びその資格の付与に関する業務が挙げられます。

直接世の中の皆様に影響を与える業務が初めてだったため、国家公務員として世の中のために必要な仕事をしているというやり甲斐と、それを誤りの無いよう業務を遂行しなければならないという責任を同時に感じました。

人を守る、時代を担う。—技術の力で、日本を守る—

防衛省には、我が国の平和と独立を守り、国民の命を平和な暮らしを守り抜くために、技術系職員が理系の専門性を活かせる場があります！

防衛省本省では総合職（行政職施設系・行政職装備系）、防衛装備庁では総合職（研究職研究開発系）、陸海空各幕僚監部では総合職（研究職能力分析系）、情報本部では総合職（研究職情報系）が、地方防衛局や統合幕僚監部や陸海空自衛隊の各部隊等では一般職職員がそれぞれ活躍しています。

総合職（行政職施設系）は、自衛隊の活動基盤である駐屯地・基地等の防衛施設に関する政策の企画立案や

整備（設計・監督・技術開発）を担い、総合職（行政職装備系）は自衛隊の能力発揮の根幹である防衛装備品に関する

政策の企画立案や調達実務を担い、総合職（研究職研究開発系）は装備品の研究開発業務を担っています。

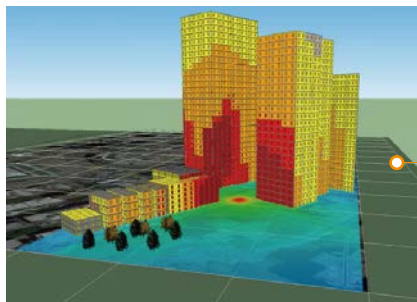
一般職職員は技術のプロフェッショナルとして装備品の点検・整備、防衛施設の設計・監督、サイバーセキュリティ業務等を担っています。



日英伊3か国による共同開発中の次期戦闘機（画像はイメージです）
出典：防衛省ホームページ
(<https://www.mod.go.jp/j/policy/defense/nextfighter/index.html>)



土木・建築・機械・電気の専門性を活かし、防衛政策を具現化する。



戦略的な「装備政策」を展開し、日本と世界に貢献する

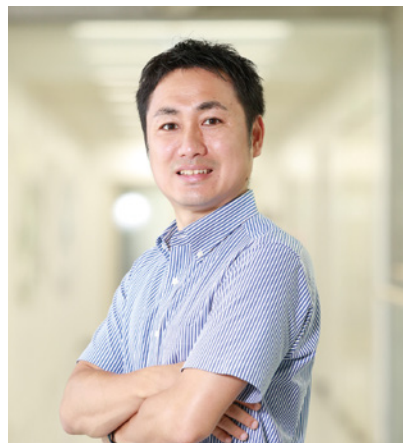
ビル群における爆発に対する脆弱性評価シミュレーション

もっと詳しく読む



先輩職員に聞く
FROM SENIOR TO YOU

国家の安全保障基盤を支える、 護るための技術



●仕事の面白み、やり甲斐

私は2018年から2年間、アメリカ陸軍工兵隊の防護設計センターで、米国の施設防護を学び、現在はその学んできたことを生かし、自衛隊施設の施設防護に関する調査・研究や設計、基準策定に取り組んでいます。施設防護とは、ミサイルや爆弾、生物・化学兵器や電磁パルス等による攻撃を受けた際に、施設の機能や人命の安全を確保するために施設を強化する技術のことで、一般の施設に比べ強靭性が必要とされる自衛隊施設にとっては不可欠なものです。施設防護は、防衛省ならではの技術やニーズであり、国内で同様の取り組みや知見も少ないため苦勞も多いですが、特別な技術に携わり、安全保障や自衛隊の活動の基盤を担っていることに、非常にやりがいを感じています。

服部 大樹

I種 理工I

防衛省整備計画局施設技術管理官付防護施設研究室
防護施設調査班長

2011年採用

国家公務員になろうと 思ったきっかけ

大学で学んできた建築という分野をベースに人や国に貢献できるスケールの大きな仕事に魅力を感じ、国家公務員を志しました。その中でも国防・安全保障に技術で貢献することにやりがいとユニークさを見出し、防衛省に入省しました。

総合職試験の概要

総合職試験は、政策の企画及び立案又は調査及び研究に関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

院卒者試験

> 試験の区分

デジタル、工学、数理学・物理・地球科学、
化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、
森林・自然環境、行政、人間科学、法務

> 受験資格

30歳未満で大学院修了又は大学院修了見込みの者^(注1)
(法務区分は司法試験の合格者であることも要件)

> 試験種目

試験	法務区分以外の区分	法務区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)	基礎能力試験(多肢選択式)
第2次試験	専門試験(記述式)、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 ^(注2)	政策課題討議試験、人物試験、英語試験 ^(注2)

大卒程度試験

> 試験の区分

デジタル、工学、数理学・物理・地球科学、
化学・生物・薬学、農業科学・水産、農業農村工学、
森林・自然環境、政治・国際・人文、法律、経済、人間科学、
教養(秋に試験を実施)

> 受験資格

21歳以上30歳未満の者
(教養区分は19歳以上30歳未満の者が受験可)^(注1)

> 試験種目

試験	教養区分以外の区分	教養区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式)、専門試験(多肢選択式)	総合論文試験、基礎能力試験(多肢選択式)
第2次試験	専門試験(記述式)、政策論文試験、人物試験、英語試験 ^(注2)	企画提案試験、政策課題討議試験、人物試験、英語試験 ^(注2)

(注1)年齢は、その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢です。教養区分については、2023年度の試験から受験資格が19歳以上30歳未満の者となりました。
(注2)英語試験(外部英語試験の活用):活用する英語試験は、TOEFL(iBT)、TOEIC(L&R)、IELTS、実用英語技能検定(英検)の4種類で、最終合格者決定の際に、スコア等に応じて、総得点に15点又は25点を加算します。

	TOEFL(iBT)	TOEIC(L&R)	IELTS	英検
15点加算	65以上	600以上	5.5以上	—
25点加算	80以上	730以上	6.5以上	準1級以上

一般職試験(大卒程度試験)の概要

一般職試験は、政策の実行やフィードバックなどに関する事務をその職務とする係員の採用試験です。

> 試験の区分

デジタル・電気・電子、機械、土木、建築、物理、化学、農学、農業農村工学、林学、行政

> 受験資格

21歳以上30歳未満の者
(その試験の名称に掲げる年度の4月1日現在における年齢)

(注)21歳未満の者で大学卒業(及び卒業見込み)、
短大又は高専を卒業(及び卒業見込み)並びに人事院が、
これらの者と同等の資格があると認める者は、受験することができます。

> 試験種目

試験	行政区分以外の区分	行政区分
第1次試験	基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 専門試験(記述式)	基礎能力試験(多肢選択式) 専門試験(多肢選択式) 一般論文試験
第2次試験	人物試験	人物試験

試験内容や出題分野をご覧になりたい方、最新の詳しい情報を知りたい方は、人事院ホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」内の「試験情報」をご覧ください。

総合職試験府省等別・試験の区別採用状況

(令和5年4月1日現在)

試験の区分 府省等	院卒者試験										大卒程度試験										合計		
	行政	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学	森林・自然環境	法務	政治・国際	法律	経済	人間科学	デジタル	工学	数理科学・物理・地球科学	化学・生物・薬学	農業科学・水産	農業農村工学		森林・自然環境	教養
会計検査院	1									2 (1)	1 (1)				1								5 (2)
人事院		1 (1)									2 (1)	2		1 (1)									6 (3)
内閣府	4 (4)	1								3 (1)	4 (2)	1	1 (1)									2 (1)	16 (9)
デジタル庁	2 (1)		1 (1)							1				1								1	6 (2)
公正取引委員会	3 (2)								1 (1)		2 (1)	3 (1)											9 (5)
警察庁	2 (1)	1 (1)		1				1		1	5 (1)	3 (2)			1							12 (3)	27 (8)
金融庁	2			2 (1)								5 (1)										3 (1)	12 (3)
消費者庁								1 (1)			2 (1)												3 (2)
総務省	13 (6)		1	3	1					7 (3)	11 (6)	3 (1)		3 (2)	1 (1)	1						26 (4)	70 (23)
消防庁								1 (1)										1					2 (1)
法務省	4 (2)	7 (3)								1 (1)	7 (2)	1 (1)	8 (5)										28 (14)
出入国在留管理庁	1 (1)									4 (1)	3												8 (2)
公安調査庁				1							3 (1)		1 (1)										5 (2)
外務省	3 (1)						1 (1)			14 (8)												16 (6)	34 (16)
財務省	3 (1)			2						8 (3)	8 (3)	4 (3)					1					16 (4)	42 (14)
国税庁	1					1 (1)	1	1		2 (2)	1	3					1 (1)						11 (4)
文部科学省	3 (1)	4 (1)		2	2	4 (2)		2 (2)			9 (6)	1			2	1 (1)						5 (1)	35 (14)
厚生労働省	5 (1)	3 (1)	1		5	9 (3)				5 (4)	10 (4)	7 (6)	1		1	1	2 (2)	2 (2)				9 (4)	61 (27)
農林水産省	1		1	1		1	16 (7)	4 (1)	8 (2)	3 (2)	9 (3)	3 (1)		2	1			30 (16)	14 (5)	8 (4)	10 (4)	112 (45)	
経済産業省	4		3 (1)	8 (1)		3 (1)				7 (2)	3	4			4	4 (2)	1 (1)					18 (6)	59 (14)
特許庁				14 (6)	2	7 (3)								2 (2)	11 (1)		3 (2)	3 (2)					42 (16)
国土交通省	7 (2)	1 (1)	1	37 (5)	2	1	1 (1)	1 (1)	9 (4)	2 (1)	12 (6)	4 (2)		1	35 (7)			2 (2)	1	3 (1)	9 (2)	129 (35)	
気象庁				2	6 (2)										1								9 (2)
海上保安庁				2	1 (1)		2 (1)																5 (2)
環境省	3 (1)					3 (2)	2	5 (3)			7 (4)				1		1	3 (2)		3	2		30 (12)
原子力規制庁	1 (1)					2 (1)				2													5 (2)
防衛省	1		1 (1)	10 (3)						8 (4)	1 (1)	1		1 (1)								4 (1)	27 (11)
防衛装備庁				8	1	2									2		1						14
(独)造幣局															1								1
(独)国立印刷局			1											1	1								3
合計	64 (25)	18 (8)	10 (3)	93 (16)	20 (3)	33 (13)	23 (10)	5 (2)	28 (13)	1 (1)	70 (33)	100 (43)	45 (18)	11 (7)	12 (6)	63 (9)	7 (3)	10 (6)	41 (24)	15 (5)	14 (5)	133 (37)	816 (290)

(注1) 2022年度総合職試験の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期内に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和7年4月の採用予定数は、令和6年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

一般職試験(大卒程度試験)府省等別・試験の区分別採用状況

(令和5年4月1日現在)

府省等	試験の区分										
	行政	デジタル・電気・電子	機械	土木	建築	物理	化学	農学	農業農村工学	林学	合計
会計検査院	25 (10)		1	1			3 (2)	2 (2)			32 (14)
人事院	12 (8)										12 (8)
内閣官房	8 (2)	1				3 (1)	2 (1)				14 (4)
内閣法制局	1										1
内閣府	32 (17)	2	3	6 (3)			1 (1)	5 (3)	2 (1)		51 (25)
デジタル庁	5 (1)	3 (2)									8 (3)
宮内庁	8 (5)		1	1						1 (1)	11 (6)
公正取引委員会	13 (7)										13 (7)
警察庁	36 (13)	12 (6)	5 (2)	4 (1)		4 (1)	10 (4)	11 (3)			82 (30)
個人情報保護委員会	3 (3)	1									4 (3)
カジノ管理委員会	2 (1)										2 (1)
金融庁	23 (13)	1									24 (13)
消費者庁	3 (3)							1 (1)			4 (4)
こども家庭庁	1										1
総務省	127 (59)	7 (1)	2			1	4				141 (60)
法務省	237 (122)										237 (122)
検察庁	177 (85)	1									178 (85)
出入国在留管理庁	157 (73)										157 (73)
公安調査庁	57 (24)										57 (24)
外務省		2			2 (2)	1 (1)					5 (3)
財務省	10 (5)	1									11 (5)
財務省財務局		1			2 (1)						3 (1)
財務省税関	178 (81)	1	1	1			20 (9)	1			202 (90)
文部科学省	32 (17)	1			1		4 (2)	1 (1)			39 (20)
厚生労働省	718 (316)	4									722 (316)
農林水産省	152 (74)	2 (1)	1	1			8 (7)	75 (44)	28 (12)	2 (1)	269 (139)
林野庁	11 (5)			1 (1)						73 (23)	85 (29)
水産庁	12 (4)			1							13 (4)
経済産業省	74 (36)	13 (3)	5 (1)	5 (2)		1	16 (7)	4 (3)		2 (1)	120 (53)
特許庁	33 (19)										33 (19)
国土交通省	400 (131)	28 (3)	39	218 (53)	16 (7)	11 (1)	27 (10)	21 (6)	6 (3)	24 (3)	790 (217)
観光庁											
気象庁	28 (16)	3		3 (1)		79 (13)	8 (2)				121 (32)
運輸安全委員会	4 (2)		1				1 (1)				6 (3)
海上保安庁											
環境省	12 (4)		1 (1)	4 (1)			1 (1)	1 (1)	1	11 (5)	31 (13)
原子力規制庁	7 (5)	1					10 (3)				18 (8)
行政執行法人	22 (6)	3	2				16 (7)	12 (8)		2 (1)	57 (22)
防衛省	206 (81)	21 (4)	4 (2)	8 (2)	2 (2)	3					244 (91)
防衛装備庁	17 (6)	3 (2)	6								26 (8)
衆議院事務局											
衆議院法制局	1										1
合 計	2,844 (1,254)	112 (22)	72 (6)	254 (64)	23 (12)	103 (17)	131 (57)	134 (72)	37 (16)	115 (35)	3,825 (1,555)

(注1) 2022年度一般職試験(大卒程度試験)の合格者で最終合格者発表日以後令和5年4月1日までの間に採用された者の数です(過年度試験の合格者で同期間内に採用された者を含む)。

(注2) ()内の数字は、女性の内数です。

令和7年4月の採用予定数は、令和6年2月初旬頃に人事院のホームページ「国家公務員試験採用情報NAVI」等に掲載する予定です。

その後、随時ホームページを通じて府省等別・試験の区分別の最新の採用予定数をお知らせしていきます。

なお、過去の採用状況もホームページに掲載していますので参考にしてください。

人事院地方事務局(所)の連絡先

北海道事務局	Tel. 011-241-1248	〒060-0042	札幌市中央区大通西12丁目
東北事務局	Tel. 022-221-2022	〒980-0014	仙台市青葉区本町3-2-23
関東事務局	Tel. 048-740-2006	〒330-9712	さいたま市中央区新都心1-1
中部事務局	Tel. 052-961-6838	〒460-0001	名古屋市中区三の丸2-5-1
近畿事務局	Tel. 06-4796-2191	〒553-8513	大阪市福島区福島1-1-60
中国事務局	Tel. 082-228-1183	〒730-0012	広島市中区上八丁堀6-30
四国事務局	Tel. 087-880-7442	〒760-0019	高松市サンポート3-33
九州事務局	Tel. 092-431-7733	〒812-0013	福岡市博多区博多駅東2-11-1
沖縄事務所	Tel. 098-834-8400	〒900-0022	那覇市樋川1-15-15

国家公務員試験や採用に関する最新の情報はこちらをチェック！



国家公務員試験採用情報NAVI

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html>

X(旧Twitter)

https://twitter.com/jinjin_saiyo



Instagram

<https://www.instagram.com/jinjin.saiyo/>

メールマガジン

<https://www.jinji.go.jp/saiyo/merumaga/mailmagazine.html>



内閣人事局のホームページ 国家公務員 CAREER GUIDE

<https://www.cas.go.jp/jp/gaiyou/jimu/jinjikyoku/recruit/index.html>

お問い合わせ

人事院 人材局 企画課 人材確保対策室

〒100-8913 東京都千代田区霞が関1-2-3

Tel.03-3581-5311(代表)

リサイクル適性(A)

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。

2023年9月発行